

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔16〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム谷中					
(3)経営状況	(26年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,824,133,063円,歳出2,782,383,774円,収支差額41,749,289円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区三ノ輪1-27-11					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 9,617.23㎡のうち5,299.08㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分 駐車場(共用)、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室など					
(6)人員体制	32名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(2)、介護職員(常勤21,非常勤3)、看護職員(3)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等。					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	53,950,855	52,984,750	53,054,638	50,434,725	56,480,238
	利用料金収入	275,832,145	276,734,000	279,747,000	283,674,000	283,673,000
	その他収入	1,212,000	2,796,250	1,331,362	1,331,275	1,331,762
	管理経費	330,995,000	332,515,000	334,133,000	335,440,000	341,485,000
決算	委託料	53,945,814	52,981,862	53,054,638	50,434,725	56,478,792
	利用料金収入	282,847,715	276,917,224	283,626,044	281,634,017	280,507,658
	その他収入	8,352,500	17,593,061	15,809,709	1,091,479	1,526,650
	管理経費	322,315,482	343,420,110	325,821,784	336,520,964	350,053,803
	収支	22,830,547	4,072,037	26,668,607	-3,360,743	-11,540,703
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
入所定員(ショートステイ含む)	人	67	67	67	67	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(28年度)	24年度	25年度	26年度	
利用率(特養+ショート)	%	99.0	99.5	98.1	97.7	
利用者数(特養+ショート)	人	24,200	24,327	23,988	23,887	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

入院に伴う空床に対して緊急的なショートステイを可能な限り受け入れる等、高い利用率を維持する取組みを行っている。また、建物の老朽化に伴う施設保全に関しても適切に取り組み、より良いサービスの提供に努めている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[-]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	全体的に適切な事業運営がなされており、服薬事故の予防のため自主的な確認作業を増やすなど、サービスの向上に努めている。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理において、適切な維持管理が行われている。
(3)利用者の満足度	A	利用者満足度調査の結果は概ね高い満足となった。昨年に比べ利用率は若干下がったものの、空床を利用したショートステイを活用するなど、高い利用率を維持する取組みを行っている。
(4)収入支出	A	人件費、修繕費等の管理経費の支出が増となったためマイナス収支となっているが、収入は前年度に比べやや増となっており、全体的に予算は適切に執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	昨年に引き続き高い利用率を維持しており、施設の事業・管理運営についても適切に行われている。
-----------	---

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

今後も空床を利用したショートステイを有効に活用し、利用率の維持に努めていく。また、建物の老朽化に対しては、区と指定管理者とで連携しながら適切な修繕・施設保全に努めていく。